

## はたこうしろうさんの絵本

今回のテーマは、はたこうしろうさんの絵本です。クーとマーのおぼえる絵本シリーズやショコラちゃんのシリーズなど、数多くの作品の中から今日は年代別におすすめの絵本を紹介します。

1冊目は、赤ちゃんにおすすめ、おーなり由子/文・はたこうしろう/絵『ぶうぶうぶう』です。

こちょこちょしたりぎゅうぎゅうしたりして、絵本で赤ちゃんと遊べるシリーズの1冊です。赤ちゃんがお口で「ぶう」。赤ちゃんのほっぺにお母さんがお口をつけて「ぶう」。おててに「ぶう」。言葉はわからなくても、「ぶう」とされると赤ちゃんは大喜び。楽しそうな赤ちゃんの表情に大人も幸せな気分になれる絵本です。

2冊目は、4歳くらいから小学生におすすめ、はたこうしろう・奥山英治/作『ふゆのむしとり?!』です。

虫とり名人のお兄ちゃんと一緒に虫とりに行くシリーズの第2弾です。帽子にマフラー、暖かそうな上着を着たお兄ちゃん、虫とり網を持ってお出かけしようとしています。冬に虫とり？虫なんているの？ところがどうやら暖かい日が続いた後はねらい目なんだって。前作『むしとりにいこうよ！』では最後にお手柄だった弟くん、今回も大活躍するのでしょうか。「ぼく」のモデルは子どもの頃のはたさんだそう。虫とり名人のお兄ちゃんと一緒に毎日虫とりに行っていたそうです。疲れて歩けなくなった弟をおんぶする兄弟のほほえましいやり取りもはたさんの経験なのかもしれませんね。

3冊目は、大人におすすめ、ジュディス・ヴィオースト/文・はたこうしろう/絵『サウスポー』です。

「あなたの誕生日パーティー、あたし行かないから。もと友達のジャネットより」そんな手紙で始まるこの絵本には、セリフもト書きもありません。すべてリチャードとジャネットの二人の手紙のやりとりのみ。だんだんエスカレートする売り言葉に買い言葉…もと友達の二人は友達に戻れるのでしょうか。この本は、絵本の形をしていますが、対象はむしろ大人、まだ恋をしたことがない小学生男子にはピンとこないかもしれません。翻訳はYA文学に造詣の深い金原瑞人さんです。恋愛小説を1冊読んだくらいのインパクトがありますよ。

さて来たる2月23日土曜日に、市民ふれあい会館にて、はたこうしろうさんのおはなし会とワークショップを開催します。おはなし会は9時30分から「おとうさーん、いっぱいあそぼう」と題して、絵本を使って、身近な生き物や遊びのヒントのお話をし

てくださいます。ワークショップは 11 時から「へんてこ動物つくっちゃおう」と題して、誰も見たことのない動物を作ります。対象はどちらも 3 歳から大人の方です。ただしワークショップは大人のみでの参加はできません。定員は、おはなし会 100 人、ワークショップ家族 40 組です。図書館カウンターまたは F A X で申込受付中です。詳細については、大橋記念図書館までお問い合わせください。電話番号は 45-6677, F A X 番号は 45-6678 です。